

リレー記事 NO.124

理事長交代しました！

2025年3月の理事会で理事長交代を決定し、5月の総会でその報告を行いました。新理事長は、濱由希子です。皆様、どうぞよろしくお願いします。

旧理事長の清水、副理事長から理事長に選任された濱、副理事長重任の伊藤の3人と今後の抱負などについて皆様にお伝えします。

清水

これまでずっと、エコけんの理事と職員を兼ねてきました。そこで、2024年度をもって職員を退職するにあたり理事を退任し、これからは一会員としてエコけんの活動を続けていきます。エコけんの立ち上げメンバーを第一世代とすると、副理事長であった濱さん、伊藤さんは第二世代にあたります。世代を超えてエコけんが継続できることは、エコけんが地域に必要とされている証でもあり、とても嬉しいことです。

濱

私は、エコロの森再生・展示棟のスタッフとしてエコけんとのつながりが始まりました。そこで得たのは、エコロ環境教室を行う私たちの環境啓発活動は種まき作業なんだという感触です。どこで育って花が咲く、あるいは実がつく、あるいは枯れていくのかその先は分かりませんが、その折々に自分にできる精一杯をやっていきたいと思っています。エコけんの活動全体については、皆さんと報告・連絡・相談を密にしながら、進めていきたいと思っています。

伊藤

私は学生時代からボランティア活動に参加していました。最初のきっかけは友人の誘いだったのですが、人と人とのつながりから縁が続き、当たり前のようにずっと市民活動に関わりながら今に至ります。エコけんとのつながりもエコけんの「ぬりつなぎ計画」*でした。

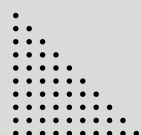
今までどおり、気負わず信頼関係を築きながら、そして少し先を考えながら活動していきたいと思います。



左から副理事 伊藤、旧理事長 清水、新理事長 濱

*ぬりつなぎ計画

よりよい地域づくりを目指し、古賀市内の劣化しつつある壁画(4箇所)を塗り替え、次代につなぐプロジェクト。
(2017年～2018年)<https://www.facebook.com/nuritsunagi/>



No.84 子どもの野外活動をすすめる会 森 さやか氏

ぐりんぐりん古賀の団体会員でもある「子どもの野外活動をすすめる会」代表の森さんにお話を伺いました。最初のお子さんを育てるときに、子ども劇場の会員として環境先進国スウェーデンで始まった「森のムッレ教室」の講演を聞いたのがきっかけで、「日本野外生活推進協会（森のムッレ協会）」のリーダー養成講座を受講して会をスタートされたそうです。



Q. 未来のために、今、何が重要だとお考えですか？

A. 子ども達への環境教育を広げることだと思っています。野外での活動体験を通して、自然環境の現状を知り、人間が他の植物や動物と同じように自然の一部だということを実感し、自然を大切に思う子どもを育てたいです。また、そういう考えの大人が増えて欲しいです。



Q. そのために、ご自身が暮らしの中で心がけておられることがあれば、お聞かせください。

A. 子どもの野外活動をすすめる会、0歳児～小学6年生までを年齢に応じて6クラスに分けて「森のムッレ教室」を実施しています。

普段からごみ袋を持ち歩き、自然の中でごみを見つけたら拾うように心がけ、子ども達が虫を捕まえて虫かごに入れたら、観察した後は元の場所に帰してあげようね、と伝えています。また、つくしやセリなど自然から収穫したものや自家製野菜を食べるようにしています。



【未来創りに向けたメッセージ】

自然の中へ出かけてゆったり過ごそう。

自然の変化にわくわくし、森の中でゆったり過ごすことは精神的にも健康的にもいいです。

当初はご自分の子どものための思いが今では地域の子どものため、地球のための活動になり、人生の目標になっておられるように思います。昨年、森林インストラクターの資格を取り、新たな知識を得てより正しい情報を伝えているそうです。年間の活動を通して子ども達の考える力や集中力、自主性などの成長を実感できて、ご自分の子育てに焦らなくなったそうです。

自然の中でのびのびと遊びながら、環境について学ぶ活動は多くの子ども達に体験してほしいですね。

2024年度 ごみ計量結果

昨年度に引き続き2月～3月の間、自家処理生ごみと再資源化のために取り分けた雑がみの計量を呼びかけました。その結果は以下のとおりです。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。自家処理された生ごみ重量は昨年度と大きく変化はありませんが、雑紙重量は増加しました。

	世帯数	延べ人数	g/人日
雑がみ	10	1093	53.4
生ごみ	8	815	97.1



今回、生ごみをどのように取り置き・処理しているか、写真を送ってもらったところ、取り置きは流しの脇に容器を置かれている方が大半だったのですが、処理は様々な方法で行われており、それぞれやりやすい方法が選択されていることを改めて確認しました。

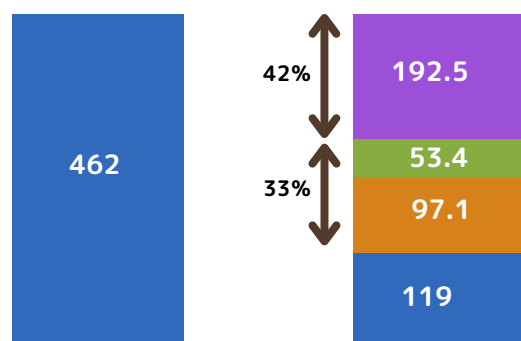


生ごみや雑がみの
分別や処理方法について
のご相談はお気軽にどうぞ。
お問い合わせ、
お待ちしております。



2024年度 ごみ内訳比較

■焼却ごみ ■生ごみ ■雑がみ ■リデュース
単位：g/人日



10月に行ったごみ減量を心がけている家庭を対象にしたごみ収集に出すごみの計量結果、及び上記の雑がみ・生ごみ重量を、2024年度の地域の家庭ごみ量と比較した以下のグラフを見ると、リデュース量が無視できない割合であることがわかります。もちろん、これらは、期間も対象も異なり単純比較できるものではありませんが、ごみ減量を心がけつつ、公的な分別品目以外の実践を行う家庭では、よりリデュース効果が見込めると推察できます。

<<S>>

地域平均家庭ごみ量

ごみ減家族計量結果

大人の学びの場 「とんてん教室」

「とんてん教室」は大人のための教室です。今年も、年間6教室を予定しています。
 少人数で和気あいあいと楽しい教室です。
 今年度は目新しい教室もいくつか予定してしています。

今後の予定

9/12(金)「防災グッズ」
 10/10(金)「火起こし体験」
 11/25(火)「木の実のリース作り」
 12/12(金)「しめ縄作り」
 2/13(金)「生姜でお茶うけを作ろう」
 3/13(金)「ルーを使わないカレー作り」

お気軽に参加ください♪



*お申し込み・受付は、開催日前月の1日(土日祝日を除く)からお電話・LINEにて。



【エコけんLINE公式アカウント】お友だち登録をお願いします。
 月一回程度、教室やイベント情報などを配信します。LINE電話も可能です。



6月22日(日)リユース室が開設されます！

古賀市立古賀東中学校内に「リユース室」が設置されます。エコけんは運営支援者として活動します。子どもが使える学用品や生活用品など、ご家庭に眠っている品物をあればお持ちください。必要としている人へつなぎます。

受入できるもの

学用品 ●制服・体操服 ●高校制服 ●上靴・体育館シューズ ●筆記用具
 ●書道セット ●絵の具セット ●辞書・参考書 ●ランドセル
 ●通学バッグ ●楽器(本体)
生活用品 ●紙おむつ ●ベビー用品 ●傘 ●絵本 ●知育玩具
 ●木製玩具



毎月第4日曜日

(12月はお休み)

10:00~12:00

受入できないもの

- × 幼稚園制服 *制服・体操服は学校教育課にて取り扱います。
- × 安全に関わるもの (ベビーカー・ベビーベッドなど)
- × 洗ったり拭いたりできないもの (ぬいぐるみ・人形など)
- × 大型のもの × 飾り物 (ポスター・絵など)

受付場所・問い合わせ先

● NPO法人エコけん

問い合わせは
 オープンチャットでも
 できます。



リユース室オープンチャットQR

古賀東中
 校内図

正面玄関

受入
 ボックス

エコけん事務所

中庭

リユース室

地域開放玄関

● 古賀市教育委員会 学校教育課 【月～金曜 9:00～16:00】
 古賀市役所第2庁舎4階 (TEL092-942-1130)